

1. 和束町の概要



<総面積 64.87km²>

森林 49.49km² (75%)

耕地 7.80km²

宅地 0.91km²

<人口 4,851人>

高齢化率 31.2%

<世帯数 1,729世帯>

<産業構成比>

第1次産業 25.1%

第2次産業 24.5%

第3次産業 49.9%

<基幹産業 お茶の生産・加工>

宇治茶の主産地

京都府内約45%の生産量

<沿革>

安積親王（聖武天皇第二皇子）陵墓をはじめ、古い時代の遺跡、地名などが随所に残っており、弥生時代には、すでに集落が形成されていたと推測され、奈良時代には、恭仁京と紫香楽宮を結ぶ交通路として開け、鎌倉時代の末期にこの地に日本で最初に茶園が形成されたとされます。江戸時代には、皇室の直轄地「禁裏御料地」として、独自の文化を育んできました。現在では、京阪奈学術研究都市の一角に位置し、町をあげて「学術研究農村」に取り組んでいます。

2. パッケージ事業に取り組んだ背景

<雇用の状況>

- ・ 中心産業は、お茶の生産・加工であり、小規模な雇用に留まっている。
- ・ 道路交通網が整備されていないため、企業誘致が難しい。

<雇用をめぐる地域の課題>

- ・ JAPANブランドの「宇治茶の主産地」でありながら、人口減少と少子高齢化による後継者不足。
- ・ お茶の流通形態が単一化しており、新しい流通経路の開拓のためのノウハウを持った人材が不足。
- ・ 茶の文化・景観資産など質の高い地域資源をもちながら、それを生かす人材が不足。



有効求人倍率 全国平均0.77% 当該地域0.42%（平成20年度）

3. 地域の重点産業分野の方向性

和束町第3次総合計画（地域資源を活かした活性化策）

人が輝き美緑あふれる「宇治茶」の郷づくり



- ①生産農家を含む茶業関連事業主に対して、経営と販促のスキルアップにより、雇用の拡大を図る。
- ②「茶のまち和束」を最大限に活かした新たな産業を創出し、（農村体験型または滞在型交流観光）交流人口の拡大により、雇用の創出を図るため、その人材を育成していく。
- ③「宇治茶の郷」としての和束ブランドの強化をし、地元住民が誇れるまちづくりを行う。



和束町雇用促進協議会設立（和束町・商工会・JA・NPO等で構成）

4.パッケージ事業の概要

<事業の趣旨・目的>

厳しい雇用状況と急速な少子高齢化による人口減少に歯止めをかけるため、基幹産業である茶産業を中心に、既存産業の拡大と新規ビジネスの創出により、和束町の地域再生を目的とする。

<事業予算>

委託対象経費	平成19年度	平成20年度	平成21年度
1. 管理費	3,833,000	7,172,000	7,054,000
2. 事業費	17,622,000	21,036,000	19,154,000
3. 消費税	1,073,000	1,411,000	1,311,000
合 計	22,528,000	29,619,000	27,519,000
3年間総計		79,666,000	

4.パッケージ事業の概要

雇用拡大メニュー（事業主向け）

- 農業経営支援研修・販売企画力開発研修
- 雇用ノウハウ研修



事業拡大や新事業展開等の支援を通じて、地域の雇用機会を拡大！

人材育成メニュー（求職者・在職者向け）

- 茶産業の新規ビジネス創出・茶の多角的販売促進
- 物販・飲食施設「和東茶カフェ」担い手育成
- 体験プログラム・農家民泊の担い手育成
- 海外に向け「和東茶」をオンラインで販売（ネットショップ開設研修）
- 地元産物を生かした起業・創業基礎研修



新商品の開発や、新たな特産品づくり

茶畑景観や茶摘み体験などを活かした着地型の体験観光の創出

地域の情報発信拠点づくり（和東茶カフェ）

宇治茶の郷としての「和東茶ブランド」の確立

就職促進メニュー（求職者向け）

- 和東茶製茶業入門研修
- 就職支援ASPシステムの導入



茶業繁忙期の人材確保等を支援！